

銘柄紹介

アイビーシー [3920・100 株] 9 月 15 日 東証マザーズ市場上場

2015 年 8 月 25 日 (火)
更新：10 時 33 分
株式会社フィスコ

ネットワーク性能監視ツールを提供

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

市場の注目度	★★★
想定仮条件レンジ	2700 円～3000 円
予想 PER	22.9 倍～25.5 倍
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後 1 年を想定	3000 円～6000 円
予想 PER	25.5 倍～51.0 倍

※★印は 5 段階評価

日程

仮条件提示	8 月 25 日
ブックビルディング期間	8 月 27 日～9 月 2 日
公開価格決定	9 月 3 日
申込期間	9 月 7 日～9 月 10 日
払込日	9 月 14 日
上場日	9 月 15 日

類似会社 3 社

平均 PER	129.2 倍	→	15,200 円
テロジ<3356>	106.1 倍	→	12,483 円
NVC<3394>	30.0 倍(連)	→	3,530 円
ジグソー<3914>	251.4 倍	→	29,577 円

(PER は 8 月 24 日終値の会社側予想ベース)

コンピューターネットワークシステムに係る性能監視ソフトウェアの企画・開発及び同ソフトウェアの利用ライセンス販売、システム性能の課題・問題解決を行うコンサルティングサービスの提供を手掛ける。独自製品「System Answer シリーズ」は、サービスの停止や通信の遅延などの障害の予兆をいち早く検知し未然に防ぐ新たな手法として提供されている。

直近のマザーズ上場案件のなかではやや軽量感に乏しいものの、クラウドやビッグデータ、IoT といったキーワードからテーマ株として人気上昇する可能性もある。

公開規模については 12 億円程度となる見込み。ベンチャーキャピタル株主は確認されず、株主構成上は比較的需給良好と言える。9/14 から 9/17 まで連日でマザーズ上場案件があるものの、同日上場の銘柄はない。



銘柄紹介

アイピーシー [3920・100 株] 9 月 15 日 東証マザーズ市場上場

2015 年 8 月 25 日 (火)
更新：10 時 33 分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/9	400	—	8	—	5	—
2012/9	460	15.0%	54	521.6%	31	518.7%
2013/9	641	39.5%	102	87.5%	47	52.9%
2014/9	807	25.7%	223	118.2%	133	180.0%
2015/9 予	975	20.8%	233	4.3%	150	12.0%
2015/6 3Q	650	—	207	—	127	—
予想 EPS/配当		単独: 117.65 円(上場時発行済株式数で試算)/0.00 円				

業績コメント

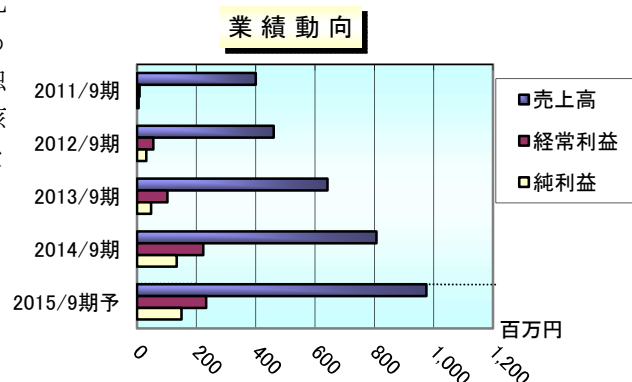
2015 年 9 月期の業績は、売上高が前期比 20.8%増の 9.7 億円、経常利益が同 4.3%増の 2.3 億円と増収増益の見通しとなっている。

足元の情報サービス業界では、クラウドコンピューティングなど様々な技術に注目が集まっている一方で、適正なシステム投資やシステムの運用コスト削減が各企業にとって継続的な経営課題となっている。

このような環境の中、同社は、システムの運用コスト削減、安定稼働、稼働品質向上を目的に、複雑かつブラックボックス化したシステムの問題予兆を早期に捉える性能監視ツール「System Answer G2」の独自開発・機能拡張・販売・サポートを中核に事業を展開しており、パートナー企業と

の連携強化策の推進、及び既存顧客における同社従来製品から「System Answer G2」への切り替えや契約更新の促進等の効果により、受注が堅調に推移している。

なお、通期計画に対する第3 四半期末時点における進捗率は、売上高 6.5 億円で 66.7%、経常利益 2.0 億円で 88.8%となっている。





銘柄紹介

アイピーシー [3920・100 株] 9 月 15 日 東証マザーズ市場上場

2015 年 8 月 25 日 (火)
更新：10 時 33 分
株式会社フィスコ

基本概要	
所在地	東京都中央区新川一丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 加藤 裕之(昭和 42 年 3 月 19 日生)
設立	平成 14 年 10 月 16 日
資本金	1 億 1160 万円(平成 27 年 8 月 11 日現在)
従業員数	45 人(平成 27 年 6 月 30 日現在)
発行済株式数(上場時)	1,275,000 株(予定)
公開株式数	公募 160,000 株 売出 209,800 株 (オーバーアロットメントによる売出 55,400 株)
想定公開規模	11.5 億円～12.8 億円(OA含む)
事業内容	コンピューターネットワークシステムに係る性能監視ソフトウェアの企画・開発及び同ソフトウェアの利用ライセンス販売、システム性能の課題・問題解決を行うコンサルティングサービスの提供

売上高構成比率 (2014/9 期 実績)			
品目	金額		比率
ライセンスの販売	664	百万円	82.4 %
サービスの提供	76	百万円	9.4 %
その他物販	66	百万円	8.2 %
合計	807	百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	岡三証券(株)	未定	未定
幹事証券	SMBCフレンド証券(株)	未定	未定
幹事証券	いちよし証券(株)	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定
幹事証券	東洋証券(株)	未定	未定
幹事証券	エース証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

アイピーシー [3920・100 株] 9 月 15 日 東証マザーズ市場上場

2015 年 8 月 25 日 (火)
更新：10 時 33 分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位 10 位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	加藤 裕之	629,000 株	50.75 %
2	アライドテレシスホールディングス株式会社	236,000 株	19.04 %
3	プラスフジ株式会社	125,000 株	10.08 %
4	岩井 靖	42,500 株	3.43 %
5	村上 彰	30,000 株	2.42 %
6	高木 弘幸	15,000 株	1.21 %
7	北村 博	10,000 株	0.81 %
7	塚本 浩之	10,000 株	0.81 %
7	加藤 俊之	10,000 株	0.81 %
10	奥村 太久実	5,000 株	0.40 %
合計		1,112,500 株	89.76 %

その他情報

手取金の使途	<p>以下の使途に充当する予定。</p> <p>(1) 開発環境整備のためのサーバ購入費用等として</p> <p>(2) 業務効率向上のための社内基幹システム導入費用として</p> <p>(3) 陣容拡大に伴う本社及び西日本事業所のオフィス増床による工事関係費用等として</p> <p>(4) 陣容拡大(3)に伴う本社及び西日本事業所のオフィス増床による敷金として</p> <p>(5) 事業拡大のための人材の確保等を目的とした採用関連費用及び人件費等として</p> <p>(6) 製品・サービスに関する展示会・イベントへの出展に係る広告宣伝費用として</p> <p>(7) 借入金の返済として</p> <p>上記以外の残額は、(3)に係る陣容拡大に伴う本社及び西日本事業所のオフィス増床による、地代家賃増加分等の運転資金に充当する予定。</p>	
関係会社	アライドテレシスホールディングス(株) (その他の関係会社) 持株会社	
VC 売却可能分(推定)	- 社 - 株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	-
	割当先	-
	発行価格	-

アイビーシー [3920・100 株] 9 月 15 日 東証マザーズ市場上場

2015 年 8 月 25 日 (火)
更新：10 時 33 分
株式会社フィスコ

銘柄紹介

コンピューター・ネットワークシステムの安定稼働や品質向上を実現する自社製品の開発と販売、各種ソリューションを提供している。

システムの安定稼働や品質向上は ICT 業界の命題だが、クラウドコンピューティングによる仮想化の促進や、ビッグデータや画像データ、音声、IoT などによるデータ量の増大、ネットワーク環境やデバイスの多様化などによるシステム環境の変化が原因となり、その実現を極めて困難にしている。さらに、それらの環境を支える運用の現場においては、高いスキルを有する人材が慢性的に枯渇している。

コンピューター・ネットワークシステムを介したサービスの停止や通信の遅延などの障害は、社会活動の大きな妨げとなる。同社では、問題発生後に気づく従来型の手法から、問題の予兆をいち早く検知し障害を未然に防ぐ新たな手法として独自製品「System Answer シリーズ」の開発及び機能拡張を続けることで、複雑化かつブラックボックスとなっているシステム環境や少人数の運用体制でも安心安全なサービス提供を実現し、社会や企業インフラの品質向上とコスト削減に貢献している。

また、顧客が直面する ICT 関連の諸問題に対して、キャパシティ計画の視点に立ったソリューションを展開している。

同社では、これらの課題に対する改善・解決に向けた迅速な活動のことを「Speedy Action」と称し、以下の現状評価、性能監視、運用支援に関するサービスをワンストップで提供している。

(1) 評価

顧客のコンピューター・ネットワークシステムの問題の抽出や最適な改善を行うための分析サービスを行っている。

(2) 性能監視

マルチベンダーで構成される複雑なシステムの性能状況を、高精度のデータで分析することが可能な自社開発の性能監視ツール「System Answer シリーズ」を提供する。適切なデータを継続的に取得し、問題の予兆をとらえ安定稼働を促進する。

(3) 運用支援

課題解決のためのコンサルティングや、システム運用担当者の育成サポートなど、顧客のビジネスパートナーとしてさまざまな運用支援を行っている。

同社の事業セグメントは、(A) ライセンスの販売、(B) サービスの提供、及び (C) その他物販の 3 つに分かれている。

(A) ライセンスの販売

自社製品である「System Answer シリーズ」のライセンス（ソフトウェア使用権）を販売している。「System Answer シリーズ」は、顧客の監視対象数などの規模に応じた柔軟なラインアップと様々なシステム環境に対応したオプションを提供している。

(B) サービスの提供

「System Answer シリーズ」のデータをもとに、同社の蓄積した専門技術を活かした分析・解析サービスや各種役務サービスを下記のとおり提供している。

(C) その他物販

顧客の課題を解決するための他社製品やソリューションサービスに付随した各種システム機器やソフトウェアなどの販売を行っている。

アイビーシー [3920・100 株] 9 月 15 日 東証マザーズ市場上場

2015 年 8 月 25 日 (火)
更新：10 時 33 分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資のポイント

直近で公開規模 10 億円未満の小型案件が多かったマザーズ上場案件にあつては軽量感に乏しく、システム開発企業の IPO 人気がぶれやすい点にも注意が必要となる。但し、株主構成及び IPO 日程上は需給面の懸念材料が特段見当たらない。また、クラウドやビッグデータ、IoT といったキーワードからテーマ株として人気上昇する可能性もあるため、今後の動向を注視していきたい。

同社は、コンピューター・ネットワークシステムの安定稼働や品質向上を実現する自社製品の開発・販売などを手掛ける。クラウドコンピューティングによる仮想化の促進や、ビッグデータ、画像データ、音声、IoT などによるデータ量の増大、ネットワーク環境やデバイスの多様化などによるシステム環境の変化が原因となり、システムの安定稼働や品質向上は ICT 業界において困難な課題になっているという。同社の独自製品「System Answer シリーズ」は、サービスの停止や通信の遅延などの障害の予兆をいち早く検知し未然に防ぐ新たな手法として提供されている。

業績面について、2015 年 9 月期は売上高が前期比 20.8%増の 9.7 億円、経常利益が同 4.3%増の 2.3 億円と増収増益の見通しとなっている。想定仮条件水準の今期予想 PER は 23~25 倍程度で、システム開発会社としては割安感に乏しいが、類似製品を取り扱っている企業と比較すれば妥当な水準と言える。

公開規模については 12 億円程度となる見込みで、マザーズ案件としては中程度に

位置付けられる。ただ、ベンチャーキャピタル株主は確認されず、株主構成上は比較的需給良好と言える。スケジュール的には、9/14 から 9/17 まで連日でマザーズ上場案件があるものの、同日上場の銘柄はない。

銘柄紹介

アイビーシー [3920・100 株] 9月15日 東証マザーズ市場上場

2015年8月25日(火)
更新：10時33分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会